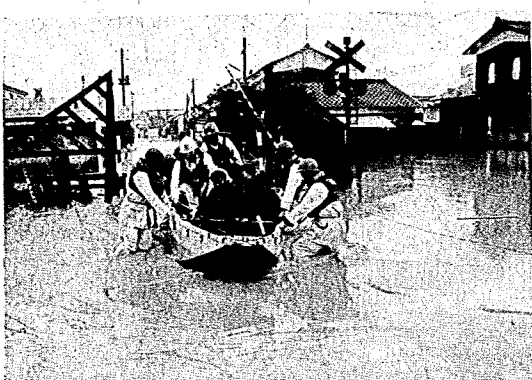
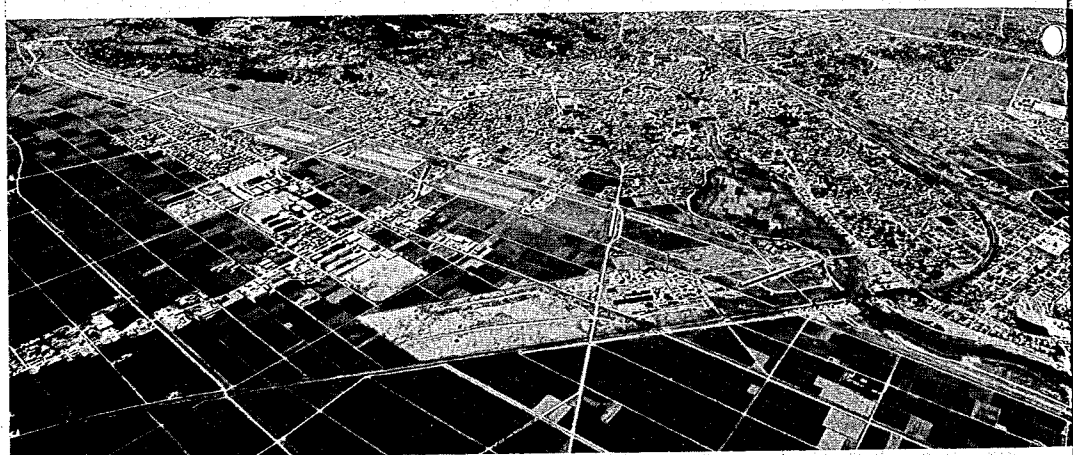




昭和53年の「6・26梅雨前線豪雨」の状況・左はボートで救出される被災者(滝谷町地内)・右は土のうを乗り越える能代川の濁流(新町地内)



昭和58年の暫定通水をめざして工事が進む能代川分流(昭和56年7月撮影)

分流の暫定通水に

ご協力ください

新津市長 斎藤 富雄

今年もまた出水の時期を迎えました。低湿
地帯に位置する当市は、水害と切っても切れ
ない関係にあります。それだけに当市から
水害をなくすことは私たち市民の悲願であり、
新津市百年の大計ともなっています。

最近では昭和五十三年、「六・二六梅雨前
線豪雨」に見舞われ、大打撃を受けました。

それを契機に能代川改修事業は河川激甚災害
対策特別緊急事業に採択され、工事を目に見
えて進むようになりました。市民の皆さんも
よくご存知のように、全く新しい川——能代
川分流も徐々にその姿を現しつつあります。

しかし、その激特事業も五年目を迎え、今
年度が最終年度にあたります。そのため分流
の暫定通水をめざして、今年度は次のページ
でご紹介するように各所で工事が行われます。
限られた地域での大規模な工事ですので迷
惑をおかけするようなこともあるかもしれま
せんが、工事にあたっては、関係地域の方々
への影響をできるだけ少なくするように工法
を検討してもらうとともに、掘削残土の運搬
路などについても配慮していくつもりです。
新津市を水害から守るという事業の公共性と
合わせ、極めて短期間に多額の投資がなされ
る激特事業の特殊性と重要性をご理解いた
だき、ご協力をお願いいたします。

また用地関係者におかれても、この事業の
趣旨をご理解していただき、適正な補償のも
とで円満に解決がなされるよう特段のご協力
をお願いいたします。